

定 例 経 営 会 議 ・ 議 事 録

年 度	平成28年度	回 数	第11回
日 時	平成28年11月8日 午前9時30分～11時30分		
場 所	庁議室(本庁舎 3 階)		
出 席 者	<p>渡部市長 荒井副市長 森教育長 南部議会事務局長心得 小林経営政策部長 東村総務部長 大西市民部長 平岡環境安全部長 山口健康福祉部長 野口子ども家庭部長 間野資源循環部長 野崎まちづくり部長 曾我教育部長</p> <p style="text-align: center;">欠席者:なし</p>		
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 昇任選考制度の変更について 3. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 大規模震災時における職員参集に関する調査結果について (2) 新たな土地利用のルールづくりについて (3) 市長への手紙の運用変更について (4) 平成29年度市民功労表彰の候補者推薦について (5) 平成28年12月定例会関係資料提出日程等について (6) その他 4. その他 5. 閉会 		
会 議 経 過	次頁参照		

1. 開会(市長あいさつ)

めっきり寒くなった。様々な行事が続いて、各部でも対応いただいていることと思う。

10月29日の総合震災訓練は、久しぶりに地域の学校で開催した。会場が若干狭い感もあるが、地域密着という意味では学校でやる方がいいとの印象を持った。

30日には「5市市長が語る地域自治体連携シンポジウム」に出席した。今回は東久留米市役所で「一億総活躍社会の実現に向けて」をテーマに、各市から様々な話をいただいた。他市の状況を聞くのは非常に刺激になる。早速、各所管には様々なお願いをした。私からは、所管課の努力で生活保護受給世帯が減少傾向に転じた話をした。これまでは100世帯ペースで増えていたが、27年度は27世帯になった。28年度は減になると思われる。医療補助が増えているので生活保護費は増えているが、初めて景気動向に左右されずに政策的な取り組み努力で生活保護世帯が減少傾向に転じる段階になった。努力すれば成果が出ることをお話した。

3日は緑の祭典とパワースポット巡り等、市の行事がいくつかあった。パワースポット巡りは700～800人の参加とのことで、シティプロモーションの行事として有益だったと思う。

5日には八国山芸術祭の初のイベントとして、ドリアン助川氏と詩を作る催しを行った。事前申し込みは55人だったが、当日の参加者は41人だった。非常に良い時間をすごさせていただいて、子ども達・青年達に創作・創造の楽しさや喜びを体験してもらえたと思う。継続していきたいと考えている。

7日は公共施設マネジメント研修を行った。成功事例として岩手県紫波町のオガールプロジェクトを紹介していただいた。逆算的に考える発想も時には必要だが、我々行政はそれだけでは済まないことが往々にある。どのように採算性を取りながら公共としての役割を果たせる施設再生を行うかは、これからもポイントとなると思う。

11日に市町村協議会がある。都知事と市町村会の役員が懇談する場だ。小池知事が就任して初めての協議会となる。知事の意向で会議は全てオープンにするそうで、傍聴も可、マスコミも入れることになった。可能ならその時に、多磨全生園の訪問をお願いしたいと考えている。

産業まつりと健康のつどいについては、各所管でよろしく願います。

19日には株主総会を開催する。各部長にも出席していただくことになるので、よろしく願います。日経グローバルから株主総会についてインタビューを受けた。無作為抽出した3千人にも掲載部分を送った。株主総会をきっかけに、寝に帰るだけだった人にも、まちに関心を持って、これからのまちづくりや東村山創生に参加・協力いただきたいと思って取り組んできた。様々な機会であまく市民を巻きこんで、まちの価値を高められるように、これからも努力していきたい。

2. 協議事項

(1) 昇任選考制度の変更について

- 試験の凍結期間

平成30年度まで延長。28年度から自己推薦も加える。

●主任職

試験科目に論文を追加。説明責任を果たすとともに、基礎的事務を身につけるため。他の職位はこれまで同様、選考で行う。

●資格要件延伸基準

変更はない。判定基準の設置日は本日の経営会議以降を予定している。

●昇任選考の実施

課長補佐職と係長職は自己推薦と部長推薦、理事者推薦の中から昇任選考委員会で決定することとする。1月20日までに人事課に提出していただきたい。

●主任職資格選考

従来通り、自治体ハンドブックからの出題と市政に関する問題、さらに論文試験を加える。

●スケジュール

昇任選考説明会を11月14日に開催する。

筆記考査は12月23日に行う。結果は、申込者数、合格者数、合格者名、合格点を公開する。

申告書は1月20日まで、人事評価シートは1月27日までに提出していただきたい。監督職も同様に、申告書と自己推薦を1月20日まで、人事評価シートは1月27日までである。

⇒ 原案のとおり進めることで決定

3. 報告事項

(1) 大規模震災時における職員参集に関する調査結果について

- ・発災後3時間以内の参集は、正職員の597名(80.8%)、再任用、嘱託を合わせて898名(81.9%)が可能という結果が出た。
 - ・参集までの時間では、全職員で1時間以内が733名(66.9%)である。手段は自転車の方が多。全体としては1時間以内に7割弱、3時間以内に8割強である。再任用と嘱託職員は市内在住者が多いため、若干率が高く、時間も早い。
 - ・参集できない理由としては、参集3時間超が46名、家庭の事情が82名、その他49名である。高齢者や乳幼児等、家族の見守りが大半であった。安全な施設等に預けることができれば参集可能という事情も見受けられた。
 - ・職員にも障害や持病を持つ者がいる。配慮が必要だ。
 - ・BCP策定に向けての基礎数値と捉えているが、発災時のことを考えると課題が多い。
- ⇒ ・BCPは、固定的な人員配置ではなく、タイムラインに応じた割り振りを考える必要がある。
- ・来られない人は明確になったが、何日後には来られるのか、追跡していただきたい。初動で動ける人を確保することも検討の必要がある。

- ・職員が被災しないようにする意識を研修で徹底していただきたい。

(2) 新たな土地利用のルールづくりについて

- ・現在、廻田町1丁目で区画整理事業を行っている。地区計画の決定と用途地域の変更を予定。容積率と建ぺい率を80%・40%から100%・50%にする。併せて地区計画として、最低敷地面積として120平方メートルとし、少し広めにして道路からの後退、生け垣等で良好な住環境を整備することで地権者と合意した。11月10日に都市計画の告示を行う。
- ・都市計画道路3・3・8号線について、今週中にまちづくりニュースを配布し、沿道の住民にアンケート調査を行う予定である。

(3) 市長への手紙の運用変更について

- ・市長への手紙、Eメール、FAXの運用方法を見直したい。
- ・統一した決裁区分とし、副市長決裁後に市民への回答を行い、市長には報告とする。
- ・回答までの日数も同じ日数とし、14日後を目途とすることに変更する。
- ・上記変更内容で試行的に実施し、回答状況や課題を整理した上で本格実施とする。

(4) 平成29年度市民功労表彰の候補者推薦について

- ・東村山市表彰条例に基づき、市民表彰、自治表彰の候補者推薦をお願いする。
- ・推薦の基準日は平成29年1月1日現在とする。12月15日号市報と同日ホームページで、市民からの直接推薦についても周知を行う。
- ・各所管からの推薦は1月17日をメ切とし、4月22日に市民功労表彰式を予定している。

(5) 平成28年12月定例会関係資料提出日程等について

市議会12月定例会関係資料提出日程等について確認した。

(6) その他

〈第3回公共施設マネジメント研修について〉

1月25日に日本PFI・PPP協会の寺沢業務部長を招いて、公共施設マネジメント研修を行う。管理職の参加、希望者の出席もよろしく願います。

〈年明けの経営会議について〉

1月10日には出初式があるため、11日9時30分から開催する。

4. その他

〈市民産業まつりについて〉

11月12・13日に開催する。各部から応援職員のご協力をいただき感謝する。
本庁舎耐震工事のために初めて天王森公園を使っての開催となる。

〈健康のつどいについて〉

産業まつりと同時開催で、いきいきプラザで健康のつどいを開催する。

〈議会報告会について〉

年4回、議会報告会を行っている。今回は18日と19日に行う。

5. 閉会